

わたり、同エリア内で太陽光発電の導入が積極的に進められている。

## ゲリラ豪雨検知 実証実験を開始

阪大、東芝など

生過程の詳細な3次元構造を30秒以内に観測できるフェーズドアレイ気象レーダーと、降雨量を正確に観測できるMPレーダーのデータを解析し、ゲリラ豪雨の発生を事前に大阪府に情報提供する。2018年をめぐりに、2種類のレーダーを一体化したシステムを構築する。

大阪大学大学院工学研究科の牛尾知雄准教授らの研究グループ、大阪府、東芝は6日、同研究科に設置している気象レーダーを活用し、豪雨発生の予兆を検知するシステムの実証実験を同日開始したと発表した。ゲリラ豪雨をもたらす積乱雲の発

東芝は検知システムの構築、レーダーのデータ解析を担当。情報通信研究機構なども実験に協力する。内閣府「総合科学技術・イノベーション会議」が主導する戦略的イノベーション創造プログラムの一環。2年間の実証期間を予定する。

電気 4面 7/7

の経営資源活  
フシー効果で  
なる伸長を自